

北関東 防衛局 広報

2025.12
Vol.
125

目次 - CONTENTS -

- 2 令和7年版 防衛白書の刊行
- 3 第17回北関東防衛地方審議会「陸自高田駐屯地」
- 4 防衛パネル展開催
- 5 横田基地 第374空輸航空団副司令官による表敬ほか
- 6 自衛隊記念式典（木更津, 下総, 入間）
- 7 令和7年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- 8 わが町紹介（群馬県北群馬郡榛東村）
- 9 事務所だより ～新潟防衛事務所～
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・米軍の飛行場周辺における建造物等の設置について
 - ・在日米軍従業員募集



越後三山（八海山・越後駒ヶ岳・中ノ岳）と信濃川（写真提供：公益社団法人新潟県観光協会）



「北関東防衛局」は、自衛隊及び在日米軍が使用する防衛施設の整備・管理、安定的な使用の確保、防衛装備品の検査・監督等、防衛施設周辺住民の生活福祉向上、地域住民と在日米軍との交流行事の実施など、幅広い業務を行っています。（管轄区域：東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県）

編集・企画発行：北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



令和7年版 防衛白書の刊行

防衛白書は、わが国の防衛の現状と課題及びその取組について広く内外の周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行されています。

令和7年版防衛白書は、国家安全保障戦略等の三文書を踏まえ、増額した防衛予算を使って進めている「防衛力の抜本的強化」の進捗、すなわち、我が国の防衛力、抑止力が順調に強化されている様子について、1年間の変化を丁寧に記述しています。

また、巻頭では、令和7年3月に新設された「統合作戦司令部」と、令和6年12月に取りまとめられた「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」の内容について、関係する隊員の声とともに分かりやすく説明する特集を設けました。

加えて、できる限り多くの国民の皆様に関心を持っていただき、我が国防衛の現状とその課題や防衛省・自衛隊の取組についてご理解いただけるよう、表紙の趣向を一新しています。

防衛省・自衛隊の取組は、国民一人一人の、そして諸外国の理解と支持があって初めて成り立つものであり、防衛白書が、我が国が置かれた環境や防衛省・自衛隊の取組について、より多くの皆さまの一層のご理解を賜るための一助となることを願っています。



堅苦しいイメージがある防衛省・自衛隊と皆様との距離感を縮めるとともに、多くの国民の皆様に関心を持っていただき、「防衛白書」の存在を認知してもらい、防衛省・自衛隊への理解を深めていただき、多くの方が防衛省・自衛隊に対して好意的な印象を持っているにも関わらず、自衛隊の募集が困難な状況にあることを踏まえ、特に若者世代にアプローチし、自衛官の募集にもつなげることを表紙の狙いとしています。

北関東防衛局では、防衛省の各種施策について、地方公共団体等の理解を深めるとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図るため、当局管内1都7県414箇所の地方公共団体等に対し、地方協力本部や関係部隊等と連携し、防衛白書の説明を毎年実施しています。

【群馬県への説明】



【中央左から池田局長、山本知事】

【埼玉県への説明】



【左から池田局長、大野知事】

【千葉県への説明】



【手前左 池田局長、奥右 熊谷知事】

第17回北関東防衛地方審議会「陸自高田駐屯地」



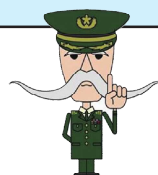
第17回北関東防衛地方審議会は「陸上自衛隊高田駐屯地」で開催しました



今年で17回目を迎える北関東防衛地方審議会は、9月11日、「新潟県上越市」に所在する高田駐屯地(駐屯地司令：山本1等陸佐)で開催しました。同審議会田中会長他4名の委員は駐屯地食堂で会食、また隊員の居室や訓練、装備品等について視察し、各委員の自衛隊に対する見識が深められた審議会となりました。

防衛施設地方審議会とは

地方防衛局長の諮問に応じて自衛隊・駐留軍の使用により不動産等に生じた損失の補償額等について調査審議し必要と認める事項を地方防衛局長に建議するために地方防衛局に置かれる組織です。



【施設研修(郷土資料館)】



郷土記念館は築100年以上経過しており、歴史的にも貴重な建造物であり、高田駐屯地の歴史を語るうえで重要で貴重な展示品などを見学しました。

【施設研修(装備品展示)】



75式ドーザー

作業と走行で運転席の前後の向きを変換でき、危険を伴う環境下でも安全に作業を行うために特別に開発。また民生品のドーザーと違い装甲を施している自衛隊ならではの装備品です。



スキーとアキオ

アキオとは北欧で使われているボード型のソリ。重い物資や人を運搬するのに役立ちます。



78式雪上車

高田駐屯地の他、北海道や日本海側の豪雪地帯の部隊に配備されています。



【幹部食堂にて会食】



駐屯地等ごとに管理栄養士の指導のもと、栄養摂取基準を満たしつつ隊員が要望するメニューや地元産品を活用したメニューを提供。この日のメニューは「ごまかつお丼」でした。

【施設研修(営内モデルルーム)】



令和5年度より防衛省・自衛隊では隊員の生活・勤務環境をより快適にすべく整備を開始。実際にプライバシーが確保され家具なども充実しています。

【施設研修(格闘訓練)】



小銃技術、銃剣技術、徒手技術からなる「自衛隊格闘術」が中心で、敵を制圧する実戦的な技術を習得します。

格闘訓練は迫力満点！



「高田駐屯地」は北に日本海、南西部に秀峰妙高山を望む、風光明媚な上越市に所在し、戦国武將上杉謙信公ゆかりの地として全国に知られ、明治41年、帝国陸軍第13師団が入城以来、軍都として栄えてきました。またここは日本スキー発祥の地としても有名です。

高田駐屯地創設60周年を記念して作成されたオリジナルキャラクター「がいし君」(旧陸軍第13師団長「長岡外史」中将)プロペラ髭と呼ばれた長大な口ひげが特徴



防衛パネル展開催



10月8日から10月20日の間、**群馬県高崎市役所**(1Fロビー)において、防衛パネル展「自衛官の処遇・勤務環境の改善／新たな生涯設計の確立」を開催しました。

防衛省が取り組んでいる人的基盤の強化の一例として、自衛官の任務や勤務環境の特殊性に見合った給与と
するため、自衛官の俸給表の改定などの
給与面の処遇改善、若い世代のライフ
スタイルに合った生活・勤務環境を
構築、自衛隊の組織文化そのものの
改革の推進、再就職に向けた職業訓練の
充実や公的資格の取得プロセスの
簡素化などについて紹介しました。



群馬県 高崎市役所



長野県 松本市総合防災訓練

10月19日、**長野県松本市総合防災訓練会場**において、防衛パネル展「自衛隊の災害派遣—令和6年能登半島地震への対応」を開催しました。今回展示したパネルは、大規模災害に対する自衛隊の備えや、昨年1月に発生した能登半島地震における自衛隊の対応について、主に発生直後の活動の状況を紹介しました。

10月26日には、**茨城県稲敷郡阿見町**で行われた「**さわやかフェア2025**」において、7月に発行された「まるわかり！日本の防衛」から、自衛隊員の活動や任務、災害派遣について紹介しました。

「さわやかフェア」は阿見町が実施する健康・福祉・環境・産業・消防などに関するPRイベントで、隣接する茨城県立医療大学の「創療祭」と同時開催され、当日は雨模様にもかかわらず、多くの方が来場されていました。

防衛パネル展は、防衛省・自衛隊の諸政策・諸活動について国民の方々の理解を深めていただくことを目的として、1都7県(千葉・茨城・埼玉・栃木・群馬・長野・新潟)に所在する自衛隊の記念行事や自治体において開催しています。パネル展示にご協力いただける自治体、施設やイベントがございましたら、企画部地方協力確保課(048-600-1844)まで是非ご一報ください。

開催予告や結果については、その都度「X」にポストするとともに、HPでもお知らせをしています。

北関東防衛局「X」 @mod_kitakanDB #防衛パネル展



茨城県 阿見町さわやかフェア



横田基地 第374空輸航空団副司令官による表敬訪問

令和7年9月12日、横田基地第374空輸航空団副司令官ドナバン・ラスキー大佐が北関東防衛局を表敬訪問されました。

池田北関東防衛局長への表敬挨拶が終了したのち、ラスキー大佐は企画部及び管理部を訪れ、緒方企画部長からは、防衛施設に関する施策や地元自治体との調整等について、佐々木管理部長からは、周辺補償や事件・事故対応など米軍に関連した業務説明を行いました。

今回の表敬訪問は、当局の役割や活動をラスキー大佐に直接知ってもらう貴重な機会となり、当局と横田基地との相互理解を深める有意義な場となりました。

引き続き、当局は、在日米軍・自衛隊と地方公共団体や地域住民の方々を繋ぐ「架け橋」となり、相互理解や信頼関係の維持・向上に努めてまいります。



(左からラスキー大佐、池田局長)



(企画部長室での業務説明)



(管理部長室での業務説明)

在日米海軍副司令官兼参謀長による局長表敬



(左から緒方企画部長、高田防衛補佐官、スアレス大佐、池田局長、加藤次長、佐々木管理部長)

令和7年9月30日、在日米海軍司令部副司令官兼参謀長ティグJ・スアレス大佐が北関東防衛局を表敬訪問されました。

スアレス大佐はラファエル ファクンド大佐の後任として令和7年7月に着任されました。

スアレス大佐からは、本年5月に硫黄島で行われた空母艦載機着陸訓練（FCLP : Field Carrier Landing Practice）期間中の北関東防衛局からの支援に対し、感謝の意が述べられました。

これに対し、池田局長からは、FCLPが円滑かつ確実に実施できるよう様々な協力を行うこと、また、当局管内米海軍施設の円滑な運用に寄与できるよう、引き続き、米海軍と連携していくことを伝えました。

自衛隊記念式典（木更津駐屯地、下総航空基地、入間基地）

北関東防衛局が管轄する1都7県には、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の司令部機能を有する主要部隊が配置されています。例年、各自衛隊施設では、一般の方々が来場できる式典などが催されます。各自衛隊がどのような活動を行っているのか、普段、接することができない大型装備品等の展示もあり、自衛隊の諸活動についてご理解の一助になれば幸いです。自衛隊の各種イベントは、防衛省ホームページをご参照ください。

（2025.10.5.陸上自衛隊 木更津駐屯地航空祭）



（2025.10.11.海上自衛隊 下総航空基地記念式典）



（2025.11.3.航空自衛隊 入間基地航空祭）



防衛省ホームページ
自衛隊イベント情報



令和7年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和7年10月28日、東京都羽村市「プリモホールゆとろぎ」において、令和7年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が開催され、本年度は、40年勤続者24名、30年勤続者89名、20年勤続者76名、10年勤続者53名の合計242名の従業員が表彰されました。

この表彰式は、北関東防衛局管内に所在する横田飛行場やニューサンノー米軍センターなどの在日米軍施設で永きにわたり勤務されている従業員の功労を称えるため、日米共同で開催しています。



表彰される各軍等の代表者に対して、池田局長及び第5空軍レッシュ大佐、AAFESエクステンジGMデフェリス氏などから、表彰状及び記念品がそれぞれ授与されました。また、式典の終盤では、表彰される代表者から「長年に渡って培った知識や経験を生かし、これからも、日米両国の架け橋としての役割を果たしてまいりたい」と答辞が述べられ、盛大な表彰式となりました。



なお、式典終了後には、表彰された従業員の方へのこれまでの労をねぎらいレセプションが開催され、短い時間ではありましたが日米参加者の親睦がより一層深められました。

～暮らし・遊び・仕事を楽しむ“ちょうど良い田舎”～榛東村

榛東村は、群馬県のほぼ中央に位置し、東に赤城山、西に榛名山を望む多くの自然が残る緑豊かな村で、周囲は高崎市、渋川市、前橋市、吉岡町の三市一町に囲まれており、バイパス道により容易に往来が可能です。

また、高崎市には上越新幹線及び北陸新幹線が乗り入れる高崎駅が、高崎市、渋川市、前橋市及び吉岡町には関越自動車道にアクセスすることができるインターチェンジがあることから、これらを活用することにより、「暮らし」・「遊び」・「仕事」の全ての面において「ちょうど良い田舎」というコンセプトのまちづくりをすすめています。



夜景の映える「創造の森キャンプ場」

60年の歴史を持つ「榛東村ぶどう郷」

榛東村は、ぶどうの栽培が盛んで本格的な栽培が開始されてから60年以上の歴史があります。水はけのよい傾斜地で手塩にかけて育てられたぶどうは、大変みずみずしく絶品です。

毎年8月から9月にかけてデラウェア・巨峰・シャインマスカット等が店頭に並び、多くの客で賑わっています。中には藤稔、ブラックビート、クインシーナなど、市場では見かけない珍しい品種が販売されていることもあるため、直売所を巡ることも魅力のひとつです。



防衛施設周辺対策事業



防災中枢機能施設

防災中枢機能施設は、村の生涯学習の拠点となり、防災の中枢を担う公民館（ＲＣ造１階建て、延べ床面積約2,300㎡）と、子どもたちの健康を支え、災害時の食糧基地ともなる学校給食センター（Ｓ造２階建て、延べ床面積約2,000㎡）を備えた新たな複合施設です。

公民館には、数種類の会議室、多目的ホール、みんなのこども部屋、しごと学習スペース、みんなのアトリエ、井戸端会議室といった多様性に富む施設整備をすることにより、住民の利便性の向上を図っています。

学校給食センターは、子どもたちに栄養バランスのとれた給食を配食するとともに、アレルギー給食にも対応できる調理室を備えた施設となっています。

新潟防衛事務所が管轄する新潟県は、面積約12,584 Km²、全都道府県中第5位の面積を誇ります。新潟県は日本有数の米所として知られていますが、この広大な土地で育てられているものはお米だけではありません。肥沃な大地と豊富な水がお米以外にもたくさんの恵みをもたらします。今回は新潟県の名産品をご紹介します。

🍓 越後姫（えちごひめ）

新潟県オリジナルの品種で、芳醇な香りとジューシーな食感が人気な新潟を代表するブランドいちごです。雪国の気象条件の下、養分を蓄えながら、およそ二か月かけてじっくり熟します。じっくり熟したいちごは、短期間で熟したいちごに比べて大粒で酸味がないのが特徴です。



🌱 新潟産えだまめ

新潟県において枝豆は、水田のあぜで作られてきたことからとても身近な作物です。作付面積は実に全国1位！しかし、出荷量は全国で7位。これは新潟産えだまめのあまりのおいしさに新潟県民がかなりの量を食べてつくしてしまうからだと言われています。新潟えだまめ（早生）→新潟茶豆→新潟あま茶豆→新潟えだまめ（晩生）等40種類もの品種をリレーすることで5月から10月まで長い期間食べられています。

🐄 にいがた和牛

「にいがた和牛」は新潟の豊かな自然が育んだ上質な味わいを持つ黒毛和種です。こしひかりの稲わらなど、良質なえさを食べてぜいたくに育てられるにいがた和牛は、口の中に広がる甘みとやわらかな肉質が特徴です。軽く塩で焼くシンプルな食べ方が肉本来の旨味を味わうのにおすすめです。口の中で肉汁と一緒に肉がとろける極上のおいしさです。



🍐 ル レクチェ

西洋なしといえば「ラ・フランス」が有名で、「ル レクチェ」を知らない方は多いのではないのでしょうか。芳醇な香りと濃厚な甘み、なめらかな舌触りが特徴のル レクチェ。滴るような果汁やとろけるような食感の秘密は、収穫後から出荷までの期間に行われる「追熟」という作業によるものです。11月下旬から12月中旬頃が旬で、実のくびの部分が茶色に色づき、甘い香りがし始めたら食べごろです。

🦞 南蛮えび

正式名称はホッコクアカエビといいます。甘えびとも呼ばれていますが、新潟では色や形が赤唐辛子（南蛮）に似ていることから「南蛮えび」と呼ばれています。一年を通じて漁獲されますが、最もおいしいのは冬のこの時期です。甘くとろけるような身は刺身に、刺身を取ったあとの頭を使った味噌汁も絶品です。



（写真提供：公益社団法人新潟県観光協会）

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で 飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は **110番通報** をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金) 航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課 連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局 在日米軍協力課	(代表) 048-600-1800 (内線:2226.2236.2237) (直通) 03-5362-4851
--	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている **自衛隊施設/米軍施設その周辺地域**(周囲約300m)の上空における **ドローン等の飛行は、原則として禁止されています。**

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法**上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先 防衛省 北関東防衛局 企画部 地方調整課 連絡調整室
【代表】048-600-1800 (内線:2226.2236.2237)

米軍の飛行場周辺における 建造物等の設置について

航空機が安全に離着陸するためには、飛行場周辺の一定の空間を、障害物のない状態にしておくことが重要です。

米軍の飛行場周辺において、建造物等の設置を計画されている方は、北関東防衛局へお問い合わせください。

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記にご連絡願います。

(横田飛行場関連)
北関東防衛局横田防衛事務所 (代表)042-551-0319

(木更津飛行場関連)
北関東防衛局千葉防衛事務所 (代表)043-221-3541



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所 〒196-0014

東京都昭島市代官山2-4-4 昭島昭和第2ビル4階

電話 042-542-7663

担当施設 横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/event-katsudo/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報

検索

広報紙
バックナンバー

